

2019. 10. 1

日中の気温が下がって、秋めいてきました。里山歩きに最適な季節が訪れましたが、台風 15 号の強風による爪痕が堂谷津の里のあちこちに見られます。安全に里山を楽しんでいただくことができるように現在整備中です。動植物は、いつもの年と変わらず秋を届けてくれています。

秋に目立つ
タデのなかま
いろいろ



イヌタデ



ハナタデ



ボントクタデ



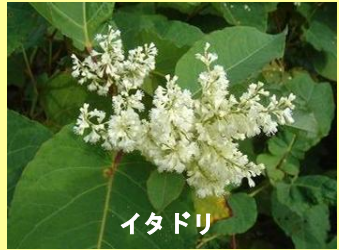
ヤナギタデ



ヤノネグサ



ミゾソバ



イタドリ

秋を彩る野草が咲いています



ユウガギク



シロヨメナ



イヌショウマ



ツクバトリカブト



ノコンギク



シラヤマギク



ヤマハッカ



ヤクシソウ

<季節メモ> トンボはどうして赤くなるの？

木の葉が赤くなる前に、「私、赤くなりました」とアカトンボ・・・。
秋の風物詩「アカトンボ」は、一般的にはトンボ科のアカネ属の仲間の総称です。堂谷津の里でよく見られるノシメトンボ、ナツアカネ、アキアカネ、マユタテアカネなどが含まれます。それらのトンボは、秋になるとなぜ赤くなるのでしょうか。

赤く変化する様子は様々、中でもナツアカネのオスは顔まで真っ赤になりますがメスはそれほど変わりません。その違いは、繁殖行動や縄張り活動の違いによるもの。オスは、日の当たるところで長時間縄張りを守ることから、赤色は太陽の強い紫外線から、身体を守る役目を果たしているとも言われています。



顔まで赤いナツアカネ

写真・編集：晝間